1. 研究の背景と目的

東京都心部には多くの人が暮らしている。その中で子どもの成育環境や人々のコミュニティ空間が現在どのような ものであるかを知り、今後どうあるべきか考えたい。最も身近であり、誰でも利用することのできる街区公園を取り 上げる。都市がどのように形成され変容し、その中で子どもの成育環境や人々のコミュミティはどのような変化をし てきたのかを街区公園の歴史やランドスケープから考える。

2. 東京都 23 区の街区公園

(1) 区ごとの街区公園の現状

東京都 23 区は合計で 618km2 の面積があり、873 万人もの人が住んでいる。 その中に 2916 箇所、 計約 5km2 の街区公 園があり、区面積の 0.82% を占める。 人口 10,000 人当たり公園面積は 28,784m2 である。 内、 街区公園面積は 5,794m2 である。その10,000人は一般的な小学校区の規模であり、その中に平均3.34箇所の街区公園がある。

表 1 23 区の街区公園 (出典「公園まっぷ」、23 区区役所ホームページより作成)

衣 1 23 区の街区五園 (山央「五園よりふ」、23 区区仅7/1小一五八一/より1F/以/													
	区面積 (km2)	人口(人)	街区公園 総数	街区公園 総面積(m2)	街区公園 平均面積 (m2)	区面積に おける 街区公園 の割合 (%)	人口10,000 人当たりの 街区公園数	人口10000人 当たりの 街区公園の面 積 (m2)	公園総数	公園総面積(m2)	人口 10,000人 当たり の公園 数	人口10000 人当たりの 街区公園 の面積 (m2)	
千代田区	11.64	55,683	17	31,681	1,864	0.27	3.05	5,690	22	260,206	4	46,730	
中央区	10.18	135,770	41	153,403	3,742	1.51	3.02	11,299	48	543,561	4	40,035	
港区	20.34	237,803	39	116,896	2,997	0.57	1.64	4,916	49	492,703	2	20,719	
新宿区	18.23	326,309	157	165,907	1,057	0.91	4.81	5,084	168	616,186	5	18,884	
文京区	11.31	205,760	29	73,683	2,541	0.65	1.41	3,581	41	343,641	2	16,701	
台東区	10.18	188,791	48	90,176	1,879	0.89	2.54	4,776	51	753,533	3	39,914	
墨田区	13.75	256,744	124	165,434	1,334	1.20	4.83	6,444	139	685,596	5	26,703	
江東区	39.99	487,142	138	290,052	2,102	0.73	2.83	5,954	167	1,950,249	3	40,035	
品川区	22.72	370,754	68	127,341	1,873	0.56	1.83	3,435	83	680,414	2	18,352	
目黒区	14.70	268,830	26	66,061	2,541	0.45	0.97	2,457	70	281,134	3	10,458	
大田区	60.42	750,713	430	427,563	994	0.71	5.73	5,695	453	1,808,248	6	24,087	
世田谷区	58.08	871,853	287	271,129	945	0.47	3.29	3,110	369	2,419,515	4	27,751	
渋谷区	15.11	216,238	42	72,375	1,723	0.48	1.94	3,347	50	648,159	2	29,974	
中野区	15.59	316,059	146	162,723	1,115	1.04	4.62	5,149	151	337,909	5	10,691	
杉並区	34.02	546,549	228	244,966	1,074	0.72	4.17	4,482	256	977,364	5	17,882	
豊島区	13.01	272,812	49	100,983	2,061	0.78	1.80	3,702	65	152,553	2	5,592	
北区	20.59	336,444	47	124,042	2,639	0.60	1.40	3,687	80	738,489	2	21,950	
荒川区	10.20	207,652	27	49,698	1,841	0.49	1.30	2,393	32	321,159	2	15,466	
板橋区	32.17	542,169	298	449,781	1,509	1.40	5.50	8,296	315	1,757,211	6	32,411	
練馬区	48.16	350,260	166	319,955	1,927	0.66	4.74	9,135	339	1,928,599	10	55,062	
足立区	53.20	672,025	271	993,062	3,664	1.87	4.03	14,777	299	2,696,992	4	40,132	
葛飾区	34.84	434,508	111	264,118	2,379	0.76	2.55	6,079	126	1,540,476	3	35,453	
江戸川区	49.86	678,825	127	296,699	2,336	0.60	1.87	4,371	158	3,193,917	2	47,051	
合計	618.29	8,729,693	2916	5,057,728	1,734	0.82	3.34	5,794	3531	25,127,814	4	28,784	

大田区には最も多く街区公園が有り、全体の15%程を占める430箇所もの街区公園がある。逆に最も少ない区は千 代田区で 17 箇所のみである。大田区は世田谷に続き 2 番目に人口が多く 750,713 人である。面積や人口の多い区に多 くの街区公園があり、設置基準を反映していると言える。

街区公園数は大田区が最も多く、2番目に多いのは板橋区だが、街区公園総面積では大小が逆転する。世田谷区は 街区公園数が3番目に多いが、7番目。街区公園数が多くても街区公園の総面積が大きいわけではない。

街区公園の面積は 2,500m2 が標準であるが、23 区全体の街区公園平均面積は 1734m2 で標準よりはるかに小さい。 23 区の人口 10,000 人当たりの街区公園数は、街区公園の総数に近い結果になっているが、都心は人口が少ないため 10,000 人当たりの街区公園数は多い。逆に少し郊外は公園数が多いが 10,000 人当たりの街区公園数はあまり多くない。 郊外は市街地の密度が比較的低く、街区公園よりも大きな公園を設けやすいと思われる。



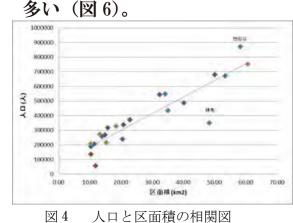


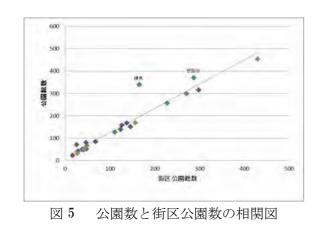


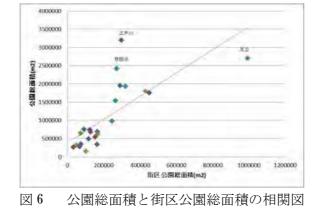
(2)相関図

① 全公園と街区公園の相関

区面積と人口は比例し、区面積が広いほど人口が多いことが分かる。ばらつきが少ないが近似直線上に乗ってい るものも少ない(図 4)。 街区公園数と全ての公園数も正の比例関係にある。練馬区は他の区と比べて公園数にお いて街区公園の割合が少ない(図 5)。街区公園総面積と全ての公園総面積は公園数に比べてばらつきが見られる。 とくに街区公園総面積が 250,000 ~ 300,000m 2 の区はばらつきが大きく街区公園以外の公園面積の割合が多い区が

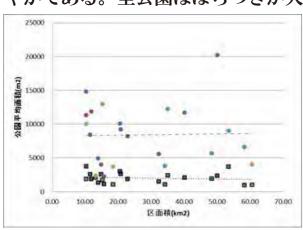


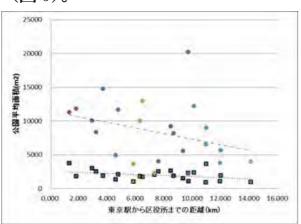




② 公園平均面積の分析

公園平均面積と区面積の近似直線は勾配が緩やかである。街区公園はばらつきが少ないが、ばらつきも多く見られ る(図7)。公園平均面積と区役所の位置は負の比例関係にある。街区公園はばらつきが少ないが、全公園にはばら つきが多い(図 8)。公園平均面積と人口密度の近似直線も右下がりであるが、街区公園については勾配が非常に緩 やかである。全公園はばらつきが大きい(図 9)。





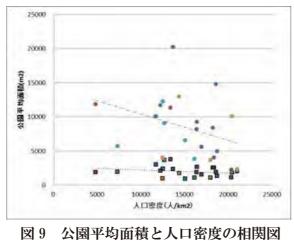


図7 公園平均面積と区面積の相関図 図8 公園平均面積と位置の相関図 公園数、公園総面積、公園の割合、人口1万人あたりの公園面積についても①②と同様に区面積、位置、人口密度 **についての相関図を作成し、そこから読み取れることを表 2 にまとめた。相関図から公園数や公園面積は、区面積や** 立地に比例関係がある。また、10,000 人当たりの公園面積は人口密度と関わりがあると考えられる。また、全体的に 全ての公園より街区公園はばらつきが少ない。 表っ 相関図から読み取れること

	区面積	立地	人口密度
公園数	区面積が大きいほど公園数が多い 街区公園と公園全体にあまり差がない 区面積が狭いほどすべての公園と街区公園 の差が少ない	都心から離れるほど公園数が多い $5km$ 圏内と $10km$ 以上のところは平均より公園数が 多い $5\sim10km$ のところは平均より少ない	人口密度が高いほど公園が少ない傾向がある ただし、ばらつきが多い
公園総面積	区面積が大きいほど公園総面積が大きい 街区公園に比べて公園全体は急勾配である	都心から離れるほど公園総面積が多い 街区公園はばらつきが少ない 全公園はばらつきが多い 5km圏内と10km以上のところは平均より公園面積が 大きい 5~10kmのところは平均より小さい傾向にある	人口密度が高いほど公園総面積は小さい 全公園は非常にばらつきがある とくに人口密度が1,000~1,500人/km2の区は ばらつきが大きい
公園平均面積	街区公園平均面積は区面積によらない ばらつきが多い	都心から離れるほど公園平均面積が小さい 全公園にはばらつきが多い	街区公園の平均面積は人口密度によらない 全公園はばらつきが大きい
区面積における 公園の割合	区面積が広いほど、公園の割合が大きい傾 向にある ばらつきが多い	街区公園の割合は都心からの距離によらない 全公園は非常にばらつきが大きい。	街区公園の割合は人口密度にやや反比例する 全公園はばらつきが多い
人口10,000人 当たりの 公園面積	人口10,000人当たりの公園面積は区面積に よらない 全公園はばらつきが多い	人口10,000人当たりの公園面積は都心からの距離に よらない 全公園はばらつきが多い。	人口密度が高いほど人口10,000人当たりの公園 面積は小さい 全公園は非常に勾配が急である 全公園はばらつきが大きい 人口密度の相関図の中ではばらつきが小さい

3. 港区の街区公園

港区は東京都心の中でも、内陸と臨海部があり、地形も高低差がある。住宅地、業務地、商業地など様々な用途が 入り湿じっている。近年は住宅も増え人口が増加したことによって公園の必要性も上がっていると考えられる。

港区の街区公園全39箇所の立地、周辺状況、隣接条件、履歴、地形・形状、公園内の構成についてデータシートに まとめた。





飯倉公園の写真





4. 分析

(1) 項目ごとの分析

港区の街区公園全39について調査し、以下のようにまとめた。

- (1) 立地…住所と最寄り駅までの距離
- (2) 周辺状況…用途地域(①第1種中高層住居専用地域②第2種中高層住居専用地域③第1種住居地域④第2種住 居地域⑤近隣商業地域⑥商業地域⑦準工業地域)
- (3) 隣接条件…隣接する道路の数と幅員、 街区内・隣接する街区の建物の種類(①住居、②オフィス、③コンビニ、④学
- 校、⑤線路、⑥川・海、⑦公園・オープンスペース、⑧神社・寺)、 上空の線路等の有無
- (4) 履歴…開園前の土地利用の履歴と開園年
- (5) 形状と地形…形状 (①街区全面、②街区を分断 (通路となる)、③異形 (長い、 凹凸等))、 地形 (①周辺と同じ高さ ②周辺より高い③周辺より低い④公園内に高低差有り)
- (6)公園内の構成…面積、 遊具、 植栽、 ゾーン分け(①されていない②遊具の配置③地面④高低差⑤道路を挟んでいる

公開名	住所	最奇駅	m10141+		隣接道	世路数		- 100	- 6	群接施	歌		L-		li li	歴			形	状	T.	色形	面積		ゾーン	分け	
	1277	₩6	用途地域	~6m	8~15m	15m~	合計	1 2	2 3	4 5	8	7 8	上空	江戸末期	明治	大正	昭和	開画年	1 2	3	1 2	3 4	(m2)			4 5	6
自公園	Ξ⊞	100	3		3		3	00)	0	Ш		無	寺院	寺院	寺院	寺院	題和28年			0	\perp	2192	2 0	00	Ш	Ш
ら坂公園	六本木	500	4		2		2				\perp	0	無	武家地	宅地	宅地	保健所	平成15年			0		1540			0	Ш
河台公園	六本木	400	2		2		2						無	武家地	宅地	小学校	小学校	昭和25年			0		2588	8 C	olol	0	
川省三紀	六本木	250	6	1			1	0	П	0	П		無	大繩地	宅地	宅地	宅地	昭和25年	П	0	0		572		\top	0	\Box
本本西公	六本木	150	\$3	1	1		2	00	οП		\top	\neg	#	宮・寺	宅地	宅地	宅地	昭和56年	П	\top	C		2187	(\Box	0
山公園	南青山	200	(2)	1			1		5	0	П		#	田畑	客地	客地	完地	昭和35年		0	\top	00	9753	3 (olo	0	0
章公园	南青山	150	2	1			1		5	0		0	#	田畑	師団	師団	収容所	昭和30年			0	TT	1003	3 0	\top	\Box	\Box
木公園	南青山	10	(6)			2	2		0.0		\top	0	=	厚較	師団	即字	邸宅	昭和25年	П,	\Box	C		3293		\top	0	\Box
村公園	南蘇布	1000	ഭന	1	1		2	00	5	0	\top	Ŏ	=	町屋	宅地	宅地	宅地	題和38年	\vdash	\vdash	o l	11	493	+ +	\top	ľΤ	\vdash
사 년	南麻布	700	30	1	1	1	3) o	ŏ	++	Ť	=	町屋	田畑	宅地	宅地	昭和45年		5	<u> </u>		2441		olo	\vdash	+
높公園	新檔	550	· 6	1	2		3		ŏŏ	~	+	0	=	屋敷	*·÷	宅地	完地	昭和47年	1		0	+	842	+	ŏlŏ	\vdash	0
五一 <u>四</u> 留西公園		250	- 8	-	3		3		<u>517</u>	\vdash	++	-1~	=	屋敷	オフィス	オフィス	オフィス	平成15年	0	+	허	+-	982	+ + '	1 ~	\vdash	Ť
短公園	海岸	450	3		1	2	3		Š O	\vdash	+	\top	=	海	海	海	更地	昭和39年	1	0.0	~	00	8933	-	00		0
出 ュロ 対プ公園		350	~			-	2	00			<u>, I I</u>		=	即字	海軍省	貯水池	線路	平成15年	1	(171	-	100	3550	_	4	 	+~
<u>ペック 名図</u> 崎公園	海岸	150	7	4	1	'	2		511	Ĭ	_	4	- 1	連摩教	工場	工場	工場	昭和59年	Н,	4	┰	141-	633		0	\vdash	+
학수 교 0公 國	港南	_	8	- '	'		0	_	511	-	-	0	=			海	運河	平成15年	 	00	$\overline{}$	++	1873	-	+~	\vdash	+
D公園 南和楽公		300 750	- 2	-			2	ᆉ	4	0	+ + '	4	=	海	海海	海	都営住宅		++	4	쑀	$+\!+\!-$	3801	+	0	\vdash	+
		550	- (3)	- 1	1		2	18	+	ŏ	0	+	無	海		海	事始	研和52年	₩	0	쑀	++-		-	8	Н	+
公园	港南	_	8		1	1			\rightarrow	\sim	141	. -			進				Н.		ä	$+\!-$	6077	-	10	1	4
0公園	港南	250				1	1		્રો	\vdash	++1	9	無	海	進	海	運河	平成 5年	115	4	~	++	1501		┵	\vdash	+
		450	<u>©</u>		1	2	3		00	\vdash	++	+	無	海	海	海	運河	昭和1年	1	4	<u> </u>	┯	3293		ᆚ	 - - - - - - - - - 	+-
なん星の		150	6			2	2	_	0 0	—	+-+	—	無	海	海	海	工場	平成14年	Н.	\rightarrow	0	110	2150				0
金公園	自全	800		1			1	0 (2	Щ.	0	+	有	町屋	田畑	田畑	宅地	昭和44年		_	<u> </u>	\perp	1484	_	00		┿
心同	芝演	250	20		2		2	+	\dashv	0	-	+	有	海	海	運河	運河	昭和52年	₩	+	0	$+\!\!+\!\!\!-$	4320	$\overline{}$		\vdash	0
之公司	芝灣	200	6		1		1		\perp	00	1	_ 0	無	海	海	運河	運河	昭和45年	ш	0		2	4542	4			2
タナス公	芝演	600	4		1	1	2	0	\perp	0	$\perp \perp$	\bot	無	海	海	海	工場	平成19年	ш	\perp	0	+	2500	4 9	00		\perp
兵公國	芝演	250	2		2	1	3	$\perp \perp$	0	0		ᄋ	無	海	海	海	工場	昭和59年	Ш	0	0		1183	ž .	\perp		0
長公園	芝演	250	Ŷ	1	1		2			0			有	海	海	海	運河	昭和62年			C		1696				
安公 🖫	西新橋	500	6	1	3		4				Ш		無	屋敷	宅地	宅地	小学校	昭和25年	0	Ш	_ C		3035	5 C	00	\perp	┸
日公園	西新橋	150	6	1	2	1	4			0	Ш		無	屋敷	宅地	邸宅	即宅	昭和25年		0 0	0	$\perp \perp$	2671	_	00	Ш	\perp
表是清翁	赤坂	350	2		1	1	2						無	大縄地	宅地	邸宅	邸宅	昭和50年			0		5321	1 0	olol		0
公	赤坂	150	(4)	1	1		2		0				無	邸宅	小学校	小学校	公園	昭和25年			C		3071	1 0	olo		0
7本公園	赤坂	300	3		2		2	100		0	П	Т	#	下屋敷	師団	師団	師団	昭和40年	П	П			4654	40	\top	\Box	Т
直 令版公	赤坂	500	(A)(B)	2			2	00	0		П	\neg	#	寺院	飾団	寺院	寺院	平成19年			0		1713	5	0		\top
含公長	高輪	700	0	1		1	2	0	\Box	0	\Box	0	#	寺院	墓地	宅地	邸宅	昭和48年		0	\top	00	5958	3	0	Ō	\top
資産の公	高輪	600	(A)	1			1				\top	7	=	下屋敷	邸宅	邸宅	邸宅	平成18年		0	0	ĬŎ	4917	(Ó	\top
七尾公園	麻布十香	100	6	1	1		2	101			0	\top	有	書・寺	宅地	宅地	宅地	昭和35年	\vdash	Ŏ	_	Ιŏ	2059	a 10	ōП	Č)
そ公園	麻布十香	100	6		4		4	Ŏ	0		17	\neg	=	町屋	字地	字地	宅地	昭和25年	0	1	Ŏ	ΠŤ	1359	, , ,	\top	\sqcap	\top
	麻布十香	50	ര്മ		-	2	2	Ŏ		\vdash	0	\top	- 1	町屋	宅地	宅地	宅地	昭和28年	ľ	$\overline{}$	ŏ	+	4828	_	\top	\vdash	\forall
	麻布獨穴町	300	0			-	2	1818	KH	\vdash	14	+	=	下屋敷	即名	字地	字地	昭和28年	 	10	4	+	1772	- V	╗	\vdash	0

(2) 相関

①ゾーン分けと開園年

ゾーン分けされていないものは、 1950、 60 年代と 2000 年代のみで作られている。 ゾーン分けが 1 種類のものは 1950 年代 と 2000 年代に 2 箇所、 1960 年代と 1980 年代に 1 箇所である。 ゾーン分けが少ないものは 1950 年代と 2000 年代に多いよ うだ。 4 種類は 2 箇所とも 1960 年代に作られている。 表 4 ゾーン分けと開園年の相関

			12、4	7 7 7 7 7 7 7	川圏中り作民	J	
1956 年に制定された都市公園法		されていない	1種類	2種類	3種類	4種類	計
の中で「児童公園」が設置される	1950年代	3	2	4	2	0	11
ようになり、 1993 年に「児童公園」	1960年代	2	1	1	1	2	7
よりになり、 1999 平に「児里公園」	1970年代	0	0	5	2	0	7
は「街区公園」へと変更されたた	1980年代	0	1	2	1	0	4
め、1950 年代と2000 年代は遊具	1990年代	0	0	0	0	0	0
	2000年代	4	2	3	1	0	10
がなくても良いことなどからゾーン分	計	9	6	15	7	2	39

けがされていないものや少ないものが多いのだろう。

②ゾーン分けと面積

面積が 1000m2 以下の街区公園はゾーン分けされていない、 1 種類が 2 箇所ずつと 3 種類が 1 箇所。 2000m2 以下はされ ていないが 4 筒所、 2 種類が 3 筒所、 3 種類が 2 筒所、 2 種類が 1 筒所。 3000m2 以下は 2 種類が 3 筒所、 3 種類が 2 箇所。4000m2以下は1種類が3箇所、されていない、2種類、3種類が1箇所ずつ。5000m2以下は2種類が3箇所、 されていないものが 2 箇所。 6000m2 以下は 2 種類、 3 種類が 1 箇所ずつ。 7000m2 以下は 2 種類が 1 箇所。 7000m2 より 大きいものは4種類が2箇所。ゾーン分けがされていないもの、1種類のものは面積が比較的小さいものが多く2種類、3種 類は 2000m2 以下、 3000m2 以下が多い。 4 種類は 7000m2 より大きいものだけである。 街区公園の標準面積 2500m2 の前 後でゾーン分けの有無が分かれる。ゾーン分けは面積の影響を受けている。

表 5 ゾーン分けと面積の相関													
	~1000m2	~2000m2	~3000m2	~4000m2	~5000m2	~6000m2	~7000m2	7001m2∼					
されていない	2	4	0	1	2	0	0	0	9				
1種類	2	1	0	3	0	0	0	0	6				
2種類	0	3	6	1	3	1	1	0	15				
3種類	1	2	2	1	0	1	0	0	7				
4種類	0	0	0	0	0	0	0	2	2				
計	5	10	8	6	5	2	1	2	39				

5. 結論

- ・街区公園は、 誘致距離 250m の範囲内で 1 箇所当たり面積 0.25ha を標準として配置する公園であり、「児童公園(もっぱ ら児童の利用に供することを目的とする都市公園)」として設置されていた公園が「街区公園(主として街区内に居住する者 の利用に供することを目的とする都市公園) | に改められたものである。
- ・一般的な公園に比べて街区公園の規模(平均面積、人口当たり面積)が区の規模(面積、人口密度)や位置(都心か らの距離)に対して安定している。
- ・港区の街区公園は、 1956 年の都市公園法制定と 1993 年の都市公園法施行令及び施行規則の改正の影響を受け、「児童 公園」が設置される以前と「街区公園」に改正されてからは公園内の構成がゾーン分けされていない公園が多い。
- ・港区の街区公園は、 面積が大きいほどゾーン分けが多くされている傾向にある。 街区公園の標準面積 2500m2 の前後でゾ ーン分けの有無が分かれる。
- ・港区の街区公園の面積は公園になる以前の土地利用や公園になる際の工程(再開発など)の影響を受けていると考えられる。 ・港区の街区公園は、 2 種類にゾーン分けしている例が 39 例中 15 と 38.5%を占める。
- ・港区の街区公園のゾーン分けは、位置や周辺状況に影響されない。

<参考文献>

- [1]「公園まっぷ」 < http://park.publicmap.jp/> (2014/6/10)
- [2]「千代田区ホームページ」(2014/6/10)
- [3] 「港区ホームページ」 < http://www.city.minato.tokyo.jp/> (2015/1/20)
- [4] 「国土交通省ホームページ」 < http://www.mlit.go.jp/toshi/park/> (2014/07/21)
- [5] 「距離計算サイト」 < http://www.kyori.jp/index.asp > (2014/09/18)
- [6] 港区教育委員会:增補港区近代沿革図集、港区港郷資料館、2010年 [7]「今昔マップ」 <http://ktgis.net/kjmapw/index.html>(2014/12/15)